

## ●老人クラブの皆さんとごみ拾い

### 栄北小学校

栄北小学校（上村義彦校長 四百七十三人）では、四年生七十九人が地域の老人クラブ「共栄睦会」の皆さんと一緒に、学校近くのなでしこ公園（北四条東七丁目）とその周辺の道路のごみ拾いをしました。

公園などのごみ拾いを経験することで、身の回りの環境に関心を持つてもらおうと行われたものです。子どもたちは、学校でごみの種類や分別の仕方などを調べて、グループごとに発表。ごみのことを事前に勉強してから実際にごみを拾いました。まず、ビニール袋を手に四グルー



ごみの種類を教してもらいながら、公園や道路のごみを拾いました（栄北小学校）

プに分かれ、空き缶やたばこの吸い殻などを拾い集めます。その後、老人クラブの方からごみの分別の仕方を教えてもらいました。「子どもたちと一緒に活動すると自分たちも元気が出てきます。ごみのことを小さいころから考えるのはとても良いことだと思えます」と共栄睦会会長の池田俊二さんは話しています。

子どもたちは、ごみの無くなった公園に大満足。学習を通じて、まちをきれいにすることの大切さを学びました。藤村裕輔君は「みんなと一緒にごみを拾って公園がきれいになって良かったです。ポイ捨ては絶対にしないようにしたい」と元気に話してくれました。

## ●町内会と一緒に清掃活動

### 東栄中学校

東栄中学校（金原金二校長 六百七十五人）でも、一年生と二年生合わせて四百三十二人が、町内会の皆さんと一緒に、校区内九カ所の公園などで清掃活動を実施。この活動は、自分たちの身の回りの環境をきれいにしようとして三年前から続いており、今年から地域とのかかわりを深めるために、町内会との合同になったものです。また、生徒一人ひとりが分別の意識を高め、適切に処理できるよう、事前にごみの分別カードを使った学習もしました。

二年生は学校周辺から公園までの道路を、一年生は公園の清掃を担当。生徒たちはグループに分かれてごみを拾ったり、公園内のベンチや遊具



学校と町内会が協力して行われた清掃活動。「このような機会をきっかけに、地域での活動にも積極的に参加してほしい」と小池さんは生徒に呼び掛けます（東栄中学校）

の落書きを消したりしました。

希望公園（北九条東一五丁目）では、紀穂、晃苗、メゾンドルチェ北10条町内会の皆さんも参加。紀穂町内会会長の小池幹雄さんが生徒たちに環境の大切さ、学校と地域とのつながりについて話しました。

生徒たちは「分別をしつかりしてごみの減量に心掛けた。リサイクルの大切さも分かりました」「地域の人たちが公園の清掃をしてきているのを知りました。これからは自分たちもできることがあれば手伝いたい」などと環境と地域への思いを話してくれました。

◇ ◇

地域や学校の特色を生かし、さまざまな取り組みが行われている「総合的な学習」。これからも学校と地域が協力した取り組みが続きます。